

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
42	紀伊水道西 小杭漁港海岸	—	農水（水産） 阿南市	750	⑤橋湾ゾーン	環境調和

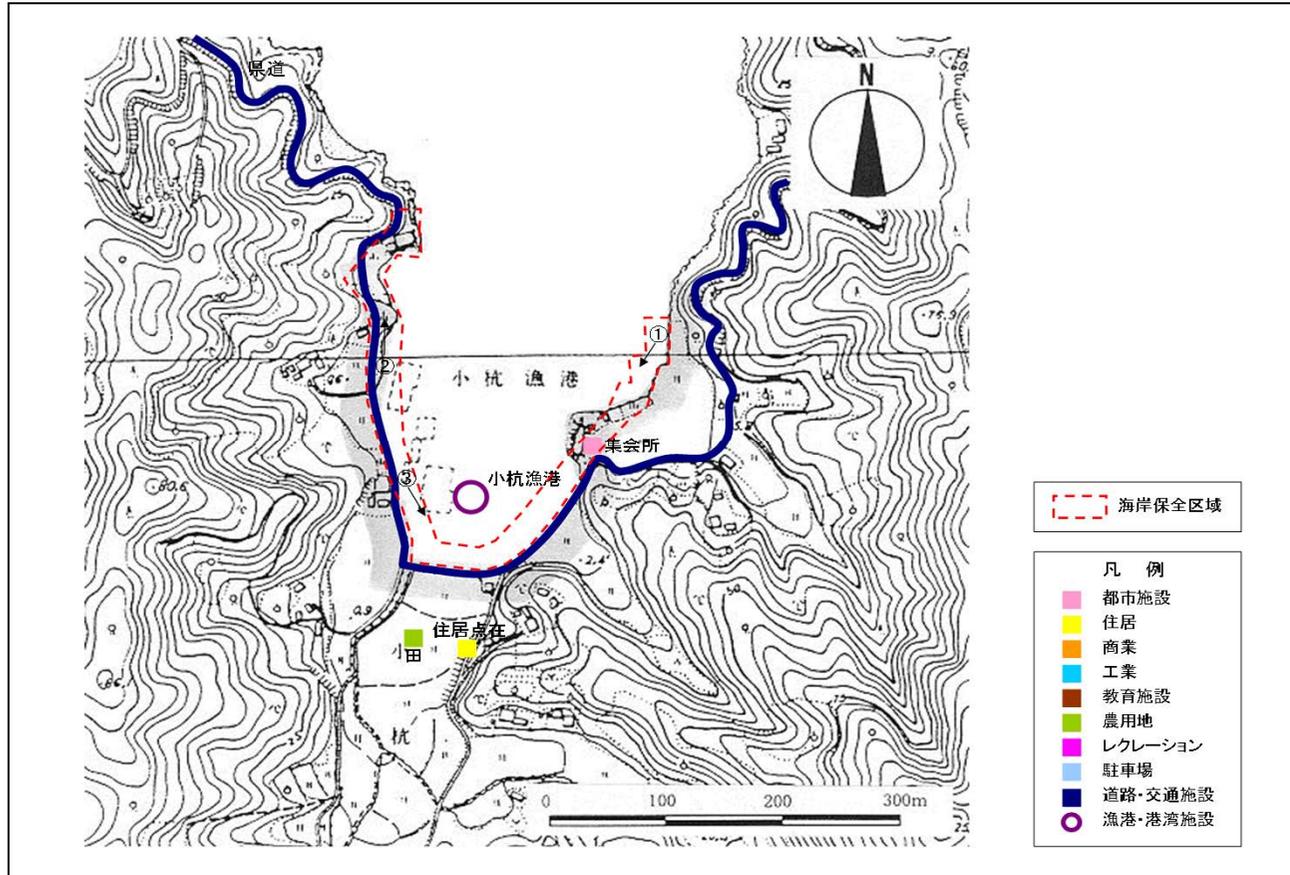
①海岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全、漁港等の現状利用に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。					
海岸保全区域の概況	新しく施工されている護岸も部分的にあるが、その他の石積およびブロック張りの護岸は風化しているものの、機能的に問題はないと考えられる。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	磯浜・護岸			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	●	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、干潟					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	漁港					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名		所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
43-1	紀伊水道西	曲漁港海岸	小曲地区	農水（水産）	阿南市	⑤橘湾ゾーン	環境調和

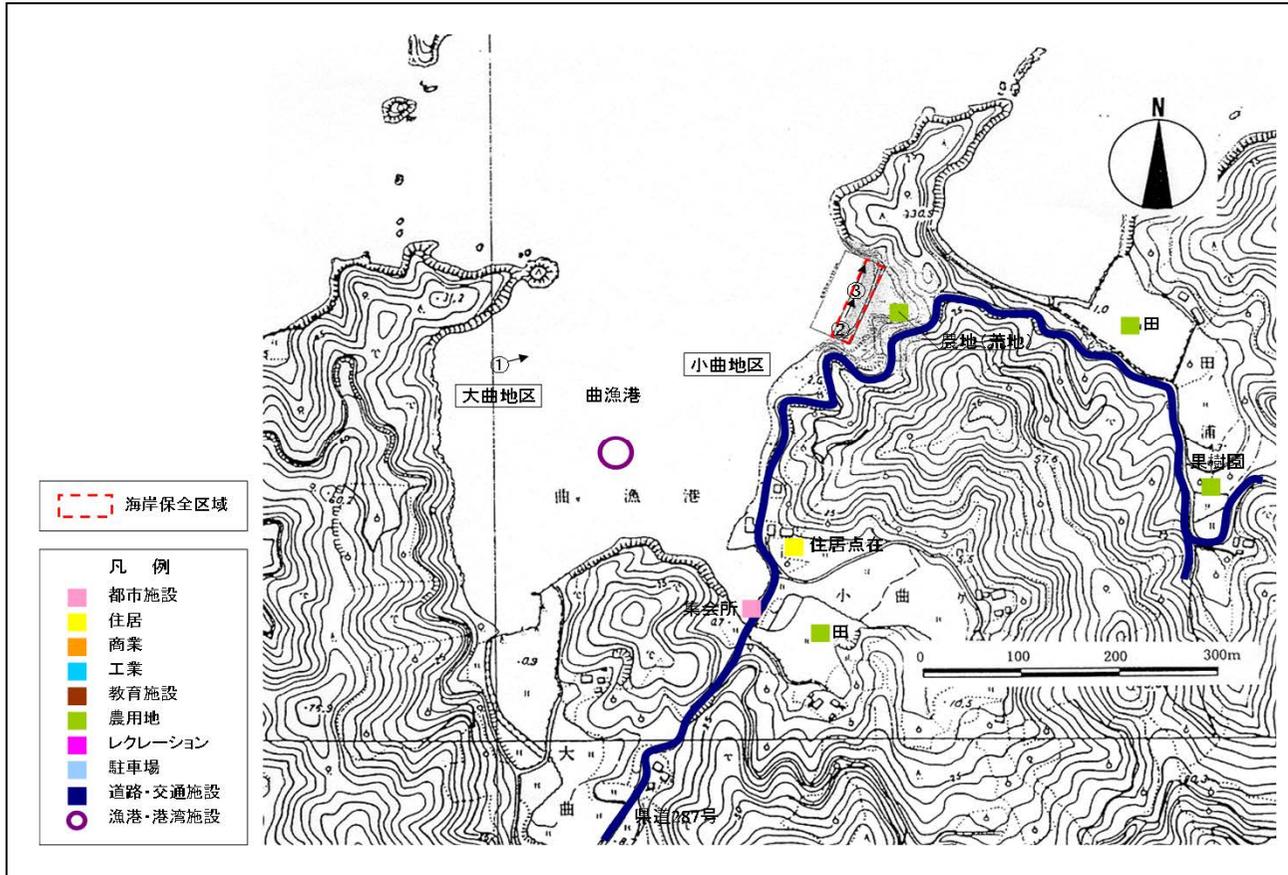
①海岸状況（全景）



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。				
海岸保全区域の概況	立入り困難な場所もある。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	● 干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	車でのアクセス困難				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	なし				
地域からの要請	-				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
43-2	紀伊水道西 曲漁港海岸	大曲地区	農水(水産) 阿南市	0	⑤橘湾ゾーン	環境調和

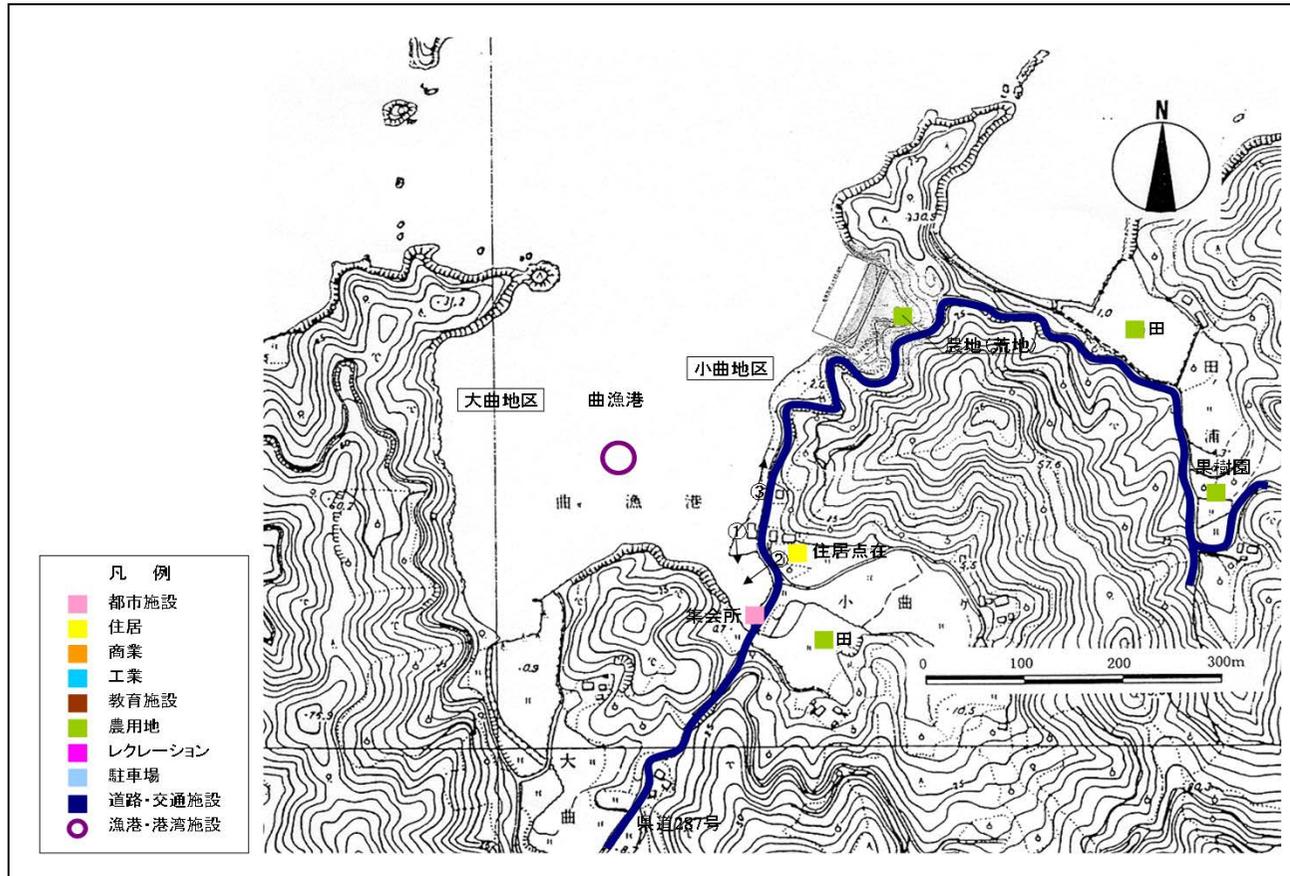
①海岸状況



②海岸状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全、漁港等の現状利用に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	立入り不可				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	車でのアクセス困難				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	漁港				
地域からの要請	-				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
44	紀伊水道西	西大江地先海岸	—	国土（水管理）	阿南市	160	⑤橋湾ゾーン	環境調和

①海岸状況



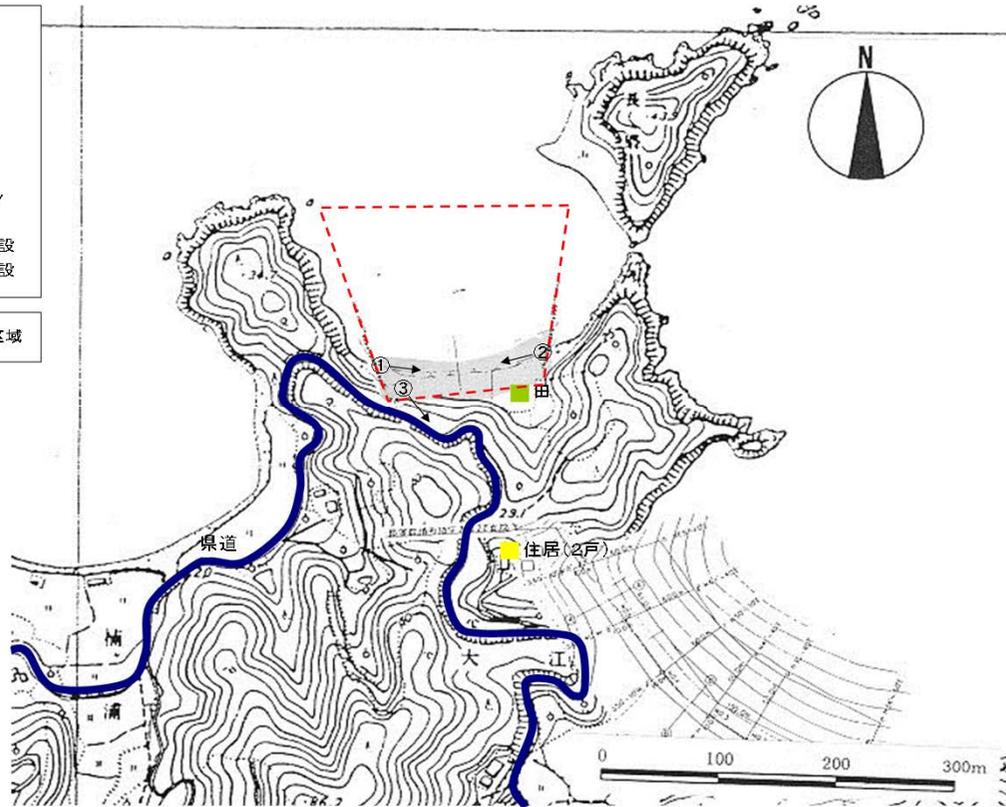
②護岸状況



③背後地状況



凡例	
■	都市施設
■	住居
■	商業
■	工業
■	教育施設
■	農用地
■	レクリエーション
■	駐車場
■	道路・交通施設
○	漁港・港湾施設
--- 海岸保全区域	



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。					
海岸保全区域の概況	古い石積の護岸である。背後は殆どが塩田であり、早急な対策は必要ないと思われる。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
45	紀伊水道西	大江山先海岸	—	国土（水管理）	阿南市	376	⑤橘湾ゾーン	環境調和

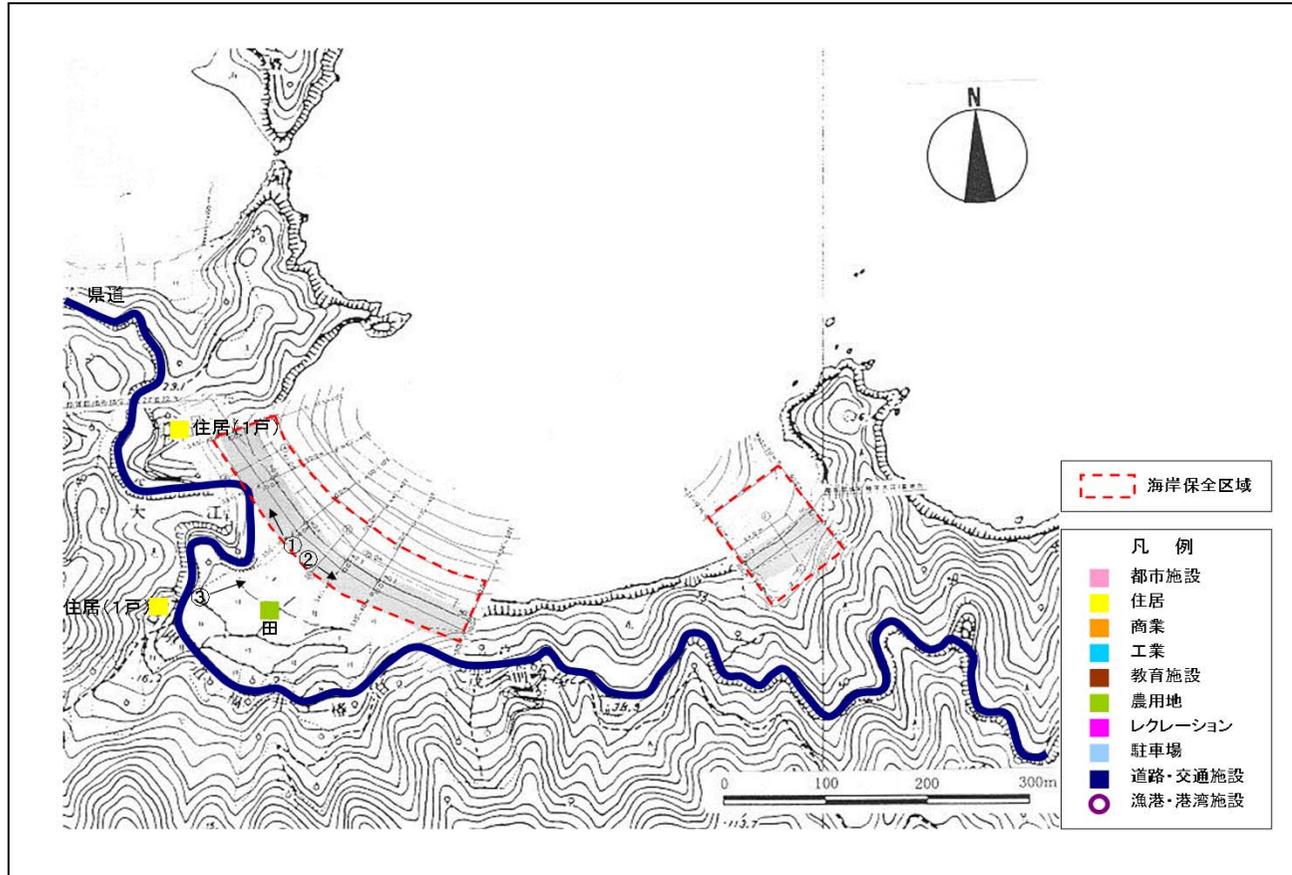
①護岸状況



②護岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	主な現況利用はなく、現状の維持に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	若干の劣化・風化が見られる。					
海岸保全区域の概況	古い石積およびコンクリート護岸である。背後は雑木林および塩田である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸			
自然関係法令	国立公園（海上：普通）、国立公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	維持	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	困難					
海岸利用状況	なし					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
46	紀伊水道西	那波江地先海岸	—	国土(水管理)	阿南市	426	⑤橋湾ゾーン	利用促進

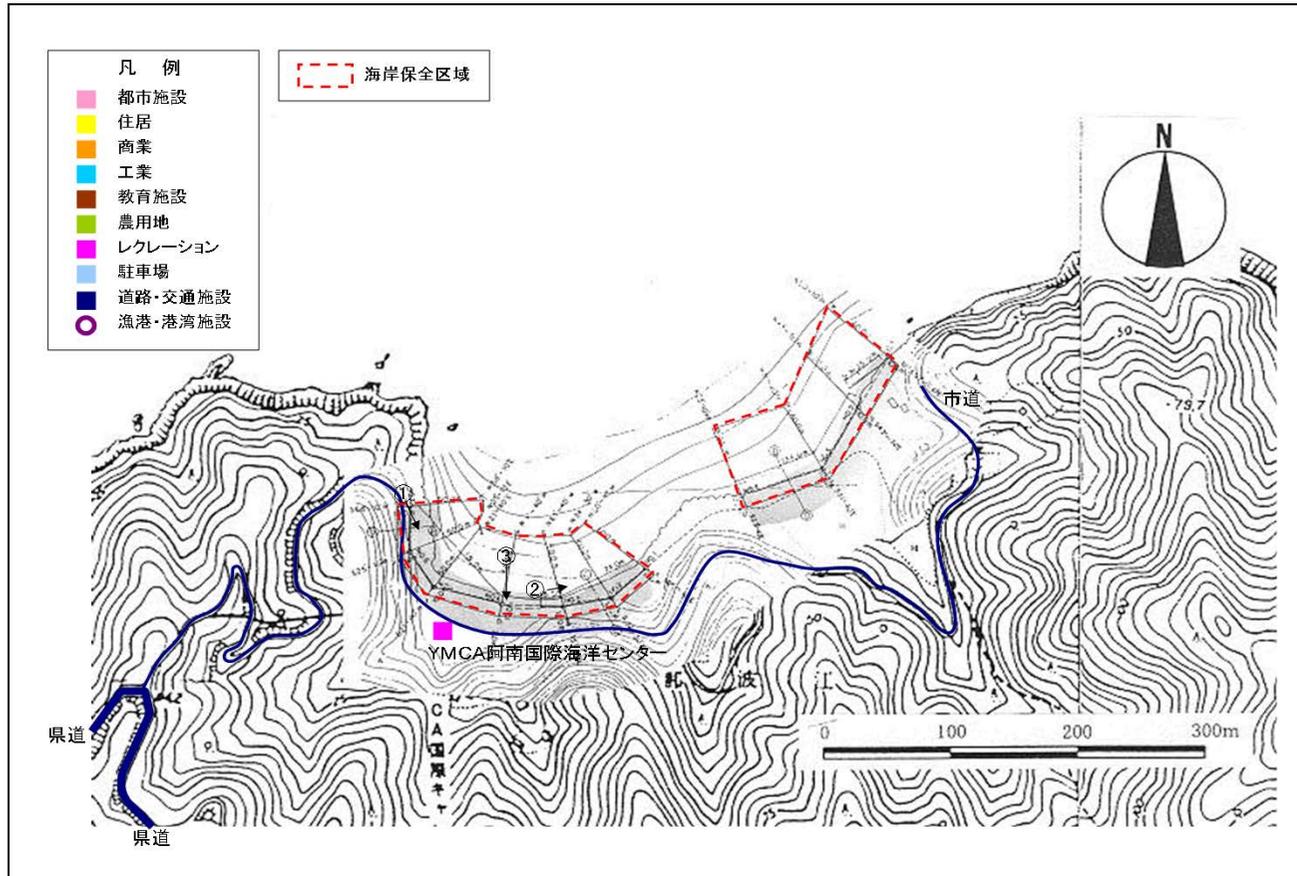
①海岸状況



②護岸状況(係船している)



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸環境の保全や海岸利用の促進に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	民間のキャンプ・宿泊研修施設が隣接し、体験学習の場としての利用が盛んである。現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防・突堤			
施設の健全度	一部風化・劣化が見られる。					
海岸保全区域の概況	YMCAのキャンプ場やヨットスクールがあり砂利が堆積している。石積護岸である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	護岸			
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	良好					
海岸利用状況	キャンプ・宿泊研修施設					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
47-1	紀伊水道西 樺泊漁港海岸	農水（水産）	阿南市	2944	⑤橋湾ゾーン	環境調和

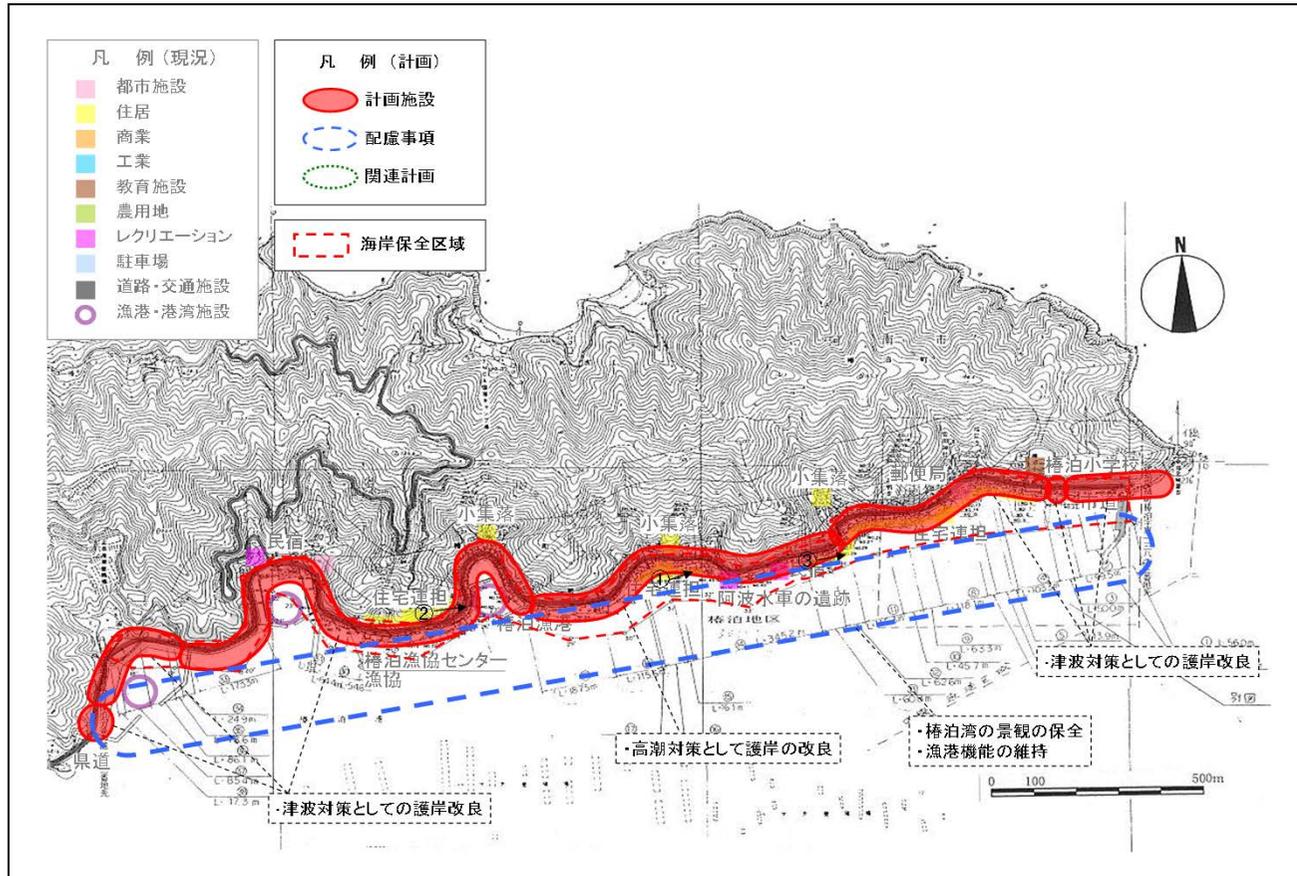
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。海岸環境の保全や漁港等の現状利用に配慮した施設整備を図る。
防護面	越波・浸水等の被害があり、対策を行う。
環境面	学術上重要とされる生物（PFA等）の生息が確認されていることから、その生息環境の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、海域の閉鎖性が特に強いため、水質保全の観点から海水交換を妨げることのないように留意する。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	A	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	風化・劣化が顕著に見られる。					
海岸保全区域の概況	護岸は風化が進んでおり、目地のずれや護岸と水叩きの開きが確認できる。係船護岸として利用されている。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	隣浜・護岸			
自然関係法令	—					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	—	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	貴重種（PFA：VU（魚類、移動あり））					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	漁港					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約3ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	樺泊湾の景観（多島海）の保全、漁港機能の維持		